



◆ 発行 ◆
青森県立八戸工業高等学校
同 窓 会
〒031-0801
青森県八戸市江陽1-2-27
電 話：0178(22)7348
F A X：0178(43)2653
発行者：畑中 義信

青森県立八戸工業高校同窓会

同窓会 会長 畑 中 義 信
(昭和四十五年度 土木科卒)



同窓会機関誌曙光第二十七号
を発行するにあたり一言ご挨拶
を申し上げます。

日頃同窓生の皆様方には母校
の支援並びに会の運営と多大な
の支援並びにご協力を頂戴し感謝申し上げます。

平成元年に中国の武漢で発見されたとされる新型コロナウイルス感染症は約三年の間、変異を繰り返しながら猛威を奮ってきました。今年に入り衰えを見せ始め、最近八戸市内の感染者数が二桁前半にまで減少しております。今後、さらなる変異を繰り返さないことを祈るだけです。

さて、学校関係教職員の異動についてですが、竹谷校長先生は青森東高校へ転任され、福井教頭先生は退任されました。その他に退任者五名と転任者十四名の異動がありました。昨年まで自粛しておりました、教職員の送別会も今年から開催され退任及び転任の皆様をお送り致しました。退任後は健康に十二分に注意されることを、また、転任者におかれましては他校での活躍をお祈りいたします。

同窓会の活動報告として、ここ三年間は本当に残念でありません。本部及び支部総会全ての行事を開催することが困難な状態でした。その最中東京支部では昨年九月にコロナ感染が収まりつつあったのを機に、東京支部総会が開催

され、自主的参加者約四十名が、新型コロナウイルスに負けじと先輩・同期生の再会を心より楽しんで一日となりました。次に、毎年お話しさせて戴いております、(社)全国工業高等学校校長協会が表彰する「ジュニアマイスター顕彰」において、全国の六百校余りが参加する内で昨年と同様四年連続十度目の全国上位三十校に入りました。本当に嬉しい限りで、ご指導くださった教職員の皆様に感謝申し上げます。その一つとして、土木建築科の建築コース西館華子さんの作品、空き家を活用し商店街活性化を願う「ひとつなぎ」が、青森県代表として二年連続選ばれ全国大会に出場し奨励賞を受賞しております。

今年本校創立八十周年を迎え、十一月三日には記念式典及び記念祝賀会が開催される予定です。記念事業として新築するトレーニング場が十月末には完成の予定ですが、使用する機材が大変不足しております。同窓会ではこの施設で使用する器具・機材一式を贈呈したいと考えておりますので、同窓生一同の皆様方のご協力を切にお願い申し上げます。

最後に、同窓生の皆様におかれましては、今後益々のご健勝とご活躍を心からご祈念致し、今後とも本会に対しまして、より一層のご助言・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

着任にあたり

青森県立八戸工業高等学校

校長 佐藤 努

努



同窓会の皆様、令和五年四月から八戸工業高校の校長に就任いたしました佐藤と申します。よろしくお願いたします。

常日頃より母校の教育活動に多大なご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

私事ですが、四年前まで本校の電気科教員として勤務し途中出入りがありました。本校通算十七年目となります。本校に赴任し改めて感じたことは、生徒は文武両道の校風の下、部活動や生徒会活動等に積極的に取り組み、各種大会やコンテストなどでも優秀な成績を収め、生徒が生き生きと様々な活動にチャレンジし、恵まれた環境下で教育活動に取り組んでいることを再認識しました。このような校風が受け継がれてきたのも、言うまでもなく同窓会の皆様が残した財産だと思っています。我々教職員も、同窓会の皆様が残り、教育活動を盛り上げていきたいと思います。さて、本校は現在校舎の建て替え工事が進み、ラピア通りに新管理棟が完成し、令和四年度末に引っ越しを完了しました。旧管理棟(江陽中向かい側A棟)は封鎖され、今後は旧管理棟を撤去し跡地に教室棟(C棟)を移築します。その後、現教室棟を撤去し新生徒玄関前が整備される予定です。この先数年間は、改築工事に伴い不便を感じる動線そして騒音に悩まされながら教育活動に取り組みなければならぬ状況にあります。このような状況下ではあります。が、本校は今年創立八十周年を迎える記念すべき年度を迎えます。引き続き地域に根ざした高校、そして新産都市八戸および周辺の町村に貢献できる工業高校として、生徒および教職員が一丸となり教育活動に取り組みたいと思います。結びに、同窓会の皆様方には、引き続き本校教育の充実に向けてご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、同窓会のさらなるご発展と会員皆様の益々のご活躍を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

東京支部の近況について

東京支部長 福井裕恭
(昭和四十三年度 土木科卒)

昭和三十二年から令和元年まで六十二回継続開催してきました新卒者の激励会と東京支部の総会が、新型コロナウイルスの影響で令和二年、三年と開催を中止せざるを得ない状況でした。その中でも令和三年十二月に役員会を兼ねて高尾山にプチ登山と紅葉狩りを行なっています。

令和四年度は会員の協力を得まして、第六十三回の東京支部総会を開催する事が出来ました。参加人数は以前に比べ半数以下になりましたが、竹谷校長、畑中同窓会会長、卒業担任の先生、三年間の新卒者、東京支部会員と交流出来た事は大変有意義な会となりました。

他団体の交流として、高窓連のボーリング大会、バーベキュー大会、青森県人の祭典の行事等にも参加しております。令和五年度は、東京支部も例年通り六月十八日に総会を開催します。十一月三日は本校にて創立八十周年の記念行事が開催されますが、東京支部からも多くの同窓生が参加し故郷の同窓生に会える事を楽しみにしております。

これからの東京支部活動の継続として、ラインを活用し多くの同窓生に行事等の連絡、ホームページによる内容の充実、卒業名簿等からの連絡を継続的に、一人でも多くの同窓生が参加出来る会にしていきたい。

東京支部総会スナップ

【東京支部総会開催】

令和四年九月一日(日)十一時三十分から御徒町改札を出てすぐの「吉池御徒町本店」で行われました。参加者は、校長・同窓会長・事務局(田端)、令和元年度から三年度の学年団六名、卒業生五名が参加しました。東京支部では、福井支部長をはじめ十七名が参加し楽しくも有意義な時を過ごしました。



「三年振りの例会」

ほつみ会 会長 小金平育男
(昭和四十九年度 工業化学科卒)



今年二月二十二日(水)やっと講演会・新年会を開催することが出来ましたこと大変嬉しく思っております。コロナ禍で世の中が様々な影響を受けながらも皆さんなんとか耐え凌いでいるところです。まさに、変化と我慢を強いられて来たわけですから、開催の意義は大きいと感じました。毎年、講演会・新年会ではOBの方々に講師をお願いして自らの職業観、人生観、社会活動や趣味など多岐の事を講話して頂いております。本年度は新八戸市長熊谷様に「これからの八戸」ということで講演をお願いしたところ快くお引き受け頂きました。

講演では、コロナ禍の収束もみえて来たところでもあり、これからの八戸がどのように復活し発展するのか興味深く、また大きく成長していくことを期待される内容でした。新たな価値観が生まれ柔軟な対応が必要とされて来ていると感じたところです。前向きなお話を頂き大変勇気づけられました。

今年度は工業高校も八十周年の節目を迎えます。そして、ほつみ会も今年で二十九年度目になります。この間、母校や在校生に対して様々な支援をして参りました。これも会員の皆様の絶大な御尽力をいただき継続出来たことであり、心より感謝申し上げます。

ほつみ会について少し紹介します。次の三つの趣旨を柱にして活動しています。一つは母校や在校生に対する支援です。学校の施設整備や在校生の部活動等に援助し、学校生活が有意義なものとなるよう協力すること。二つ目は会員同志の研鑽と親睦を計ることを目的としています。自己が得意とするジャンルを深く極め磨きをかけ、先輩後輩の絆を深め助け合うこと。三つ目は地域貢献です。八戸市に対して寄付を行っています。地域の人材が人財になるよう願っているところです。今後とも、ほつみ会が末長く継がって行くことを望み、また賛同して入会して下さる方をお待ちしております。門は常に開いております。

弁論大会を終えて

第一位「世界を知って未来を想う」
二年建築科 館花アンドラ

「明日、ウクライナの子供たちが来るから宜しくね。」

私は、今年の夏休みに母の故郷であるルーマニアに帰省した。私は、せっかく海外に行けるのだから沢山の人たちと関わり、見聞を広めたいと考えていた。その事を親戚の叔母に相談した所、図書館で行われるお絵描き教室のボランティア活動に四日間参加させてもらうことになった。



どうやらその中の一日にウクライナ人が参加するらしい。私は突然の展開にとっても驚いた。ルーマニアでは約六百万人のウクライナ人が避難してきている。私は密かに、ウクライナ人に会えれば今の現状を知ることが出来るかもしれない、と何でもいから力になりたいと思っていたので、不安だったが楽しみでもあった。次の日、そのウクライナ人の子供が来た。参加するのは五人兄弟のうちの兄と妹の二人だった。私は、この子達と沢山コミュニケーションを取るぞと意気込んでいた。しかし、母親も含め、ルーマニア語も英語も話すことができないことを知った。その場にいた誰もがウクライナ語を話すことができないので、会話はスマートホンの翻訳機能を使うしかなかった。私は早速、二人に今日描く絵のお題を伝えた。しかし、二人は絵を描こうとはしなかった。妹の方は少しづつ描き始めたが、兄の方は全く描かなかった。それどころか、目に涙のようなものを浮かべていた。私はこの子達の気持ちを察することができず、とても悔やんだ。そうしているうちに、母親が二人を迎えに来た。すると、兄は席を立ち真っ先に母親の元に走っていつ

た。妹の方は描く手を止めて、じっと母親を見つめていた。彼らにとって頼れるものは母親だけだった。私は家に帰ると、色々な感情がこみ上げ、声を上げて泣いてしまった。この子達はまだ小学生にも満たない年で故郷を捨てた。父親は戦争に行っている。彼らは今日まで学校や幼稚園、仕事にも行けない生活を送っている。家族がいて、学校に行き、友達に会うことができ、自分の好きな事ができる。たったそれだけのことがどれほど幸せな事なのかに気付かされた。私は、自分の現状と私の周りの人達のことを思い出した。間違いなく、記憶の中の皆は笑顔だった。私達は、この当たり前の生活がいつまでも変わらず、あり続けるだろうと思っている。私は、このウクライナ侵攻が起きるまで、身近で戦争なんか起きるはずがないと思っていた。きっとウクライナ人も侵攻されるその時まで、いつも通り当たり前前の生活をしていたに違いない。私は、自分以外の世界にもっと目を向けていかなければならないと思った。

ウクライナの侵攻が起きたばかりの時に、テレビで放送された、ある女性のインタビューが心に残っている。

「私達はただ、青空の下で暮らしたい。」

ウクライナ人以外にも、世界には困難の中で生活している人が沢山いる。私達人間が生きている以上、このような問題が無くなることはないだろう。だからこそ、私達は広い世界に目を向け、自分達の知識や体験談を結集させて、人々に手を差し伸べていくべきだ。私も未だに答えは見つからないが、探し続ければ必ず答えがきつと見つかると信じている。そしていつかは世界中の人々が青空の下で笑顔を絶やさぬ生活ができるように、私は明るい未来へ向かって進んでいきたい。

弁論大会結果 入賞者(一〜六位)

- 一位 「世界を知って未来を想う」
二年 建築科 館花 アンドラ
- 二位 「自立」
一年 機械科 笹野 大輝
- 三位 「疑う心」
三年 電子機械科 吉田 崇悟
- 四位 「目標を持つことの大切さ」
三年 情報技術科 丹野 萌衣
- 五位 「私はポイ捨てを無くします」
二年 電子科 小笠原 凜乃介
- 六位 「私の願い」
三年 材料技術科 上家 奈々花

「建築甲子園」に挑戦して

三年 土木建築科 西 館 華 子

私は課題研究の建築設計競技班として、建築甲子園に挑戦しました。今年のテーマは昨年と同じく「地域の暮らし・これからの地区センター」でした。実施要項を熟読し、地区センターとはどのようなものかと考えることから始まり、自分が住んでいる町の特徴と課題を見つめました。設計する中で、その現状を解決するためにはどうするべきか悩むこともありましたが、先生の適切なアドバイスもあり、自分の納得できる作品を完成させることができました。

作品概要は、人通りが減衰した「おいらせ地区」の商店街を改修し、これからの地区センターとして活用することを提案しました。私がイメージするこれまでの地区センターのように一つの建物に色々な用途が集まったものではなく、商店街に点在する空き家を活用し、おいらせ地区商店街の一角を地区センターとすることにしました。空き家を活用することでまだ使用できる建物の寿命を最大限に引き出し、これまで形成してきた町の景観も守るという利点を生かす設計をしました。

四月から作品の製作に取り組んで来て、一から設計することや自分の提案を人に伝えることの難しさを感じました。それと同時に建物の具体的な用途や利用する人のことをイメージしながら試行錯誤し、設計における大切なポイントを知ることができました。さらに、審査員に伝わりやすいように文章の構成だけではなく、配色や配置等のレイアウトにも沢山の時間をかけてこだわりました。そのために、イラストレーターやCADソフトを使用することで、扱う技術も身に付けることができました。また、約六カ月での製作は課題研究の時間だけではなく、夏休みや放課後と沢山の時間を使って完成に間に合わせ、終えた時には達成感を味わうことができました。さらに応募した図面が県大会で優勝し、昨年の先輩方の初優勝に続き二連覇することができました。結果の知らせを受けた時には、自分にとって本当に良い経験をする事ができたと改めて思うことができました。これから建設業に携わる上で今回の経験を存分に生かせるように、これに慢心せず日々努力し続けていきたいと思います。

「建築甲子園」青森県大会



高校生の「建築甲子園」青森県大会で優勝した西館華子さん

地元おいらせ・百石地区活性化を考案

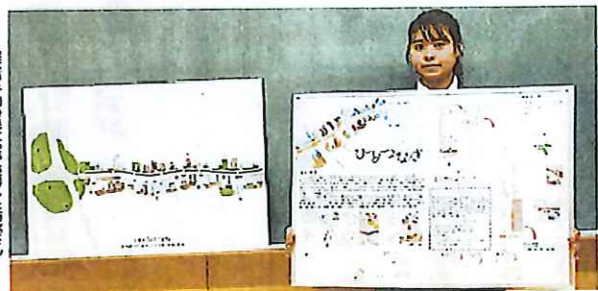
「建築甲子園」青森県大会で優勝した西館華子さんは、地元おいらせ・百石地区の活性化を考案した。おいらせ地区は、人口減少が進んでいる。また、商店街の衰退も懸念されている。西館さんは、空き家を活用して、新しい店舗やカフェを誘致し、地域の活性化を図りたいと考えている。また、おいらせ地区の歴史や文化をテーマにした、観光コースの考案もしている。西館さんは、地元おいらせ・百石地区の活性化を考案し、地域貢献に取り組んでいる。彼女のアイデアは、地元の人々から高い評価を受けている。また、地元企業や団体と連携し、実現に向けて取り組んでいる。西館さんの活躍は、地元おいらせ・百石地区の活性化に大きく貢献している。彼女の活躍は、地元の人々から高い評価を受けている。また、地元企業や団体と連携し、実現に向けて取り組んでいる。西館さんの活躍は、地元おいらせ・百石地区の活性化に大きく貢献している。

デーリー東北 取材記事より

西館さん(八戸工業高) 優勝

八戸工業高連覇 全国へ

設計を学ぶ高校生によるコンテスト「第13回建築甲子園」(主催・日本建築士会連合会、監理有東徳英士会)の県大会で、八戸市の八戸工業高校が連覇を果たし、月内に行われる全国大会の1次審査に駒を進めた。優勝した作品を制作した同校土木建築科・建築コース3年の西館華子さんは「優勝できてうれしい。全国大会はベスト8以上に入りたい」と語る。



建築甲子園県大会優勝した西館華子さん

西館さん 多世代集まる商店街提案

東奥日報 取材記事より

令和四年度青森県立八戸工業高等学校 部活動成績



市村 あおい
Aoi Ichimura

初インターハイ
「自己ベスト更新を」

市村 あおい (16歳) は、女子59kg級で、初インターハイで自己ベストを更新し、優勝を果たした。

R4.6.16 デーリー東北Dash 掲載



柔道部



弓道部

レスリング部

- ・春季大会
- 男子92kg級 フリースタイル 第1位
- ・高校総体
- 男子92kg級

- グレコローマンスタイル 第1位
- フリースタイル 第1位
- 女子47kg級 フリースタイル 第1位
- 53kg級 第1位

- ・国体予選
- 男子92kg級
- グレコローマンスタイル 第1位
- フリースタイル 第1位

ウエイトリフティング部

- ・春季大会
- 団体 第1位
- 男子61kg級 第1位
- 73kg級 第1位
- 102kg級 第1位
- 女子59kg級 第1位

- ・高校総体
- 男子73kg級 第1位
- 102kg級 第1位
- 女子59kg級 第1位

- 女子59kg級 第1位
- 102kg級 第1位

国体予選

- 男子81kg級 第1位
- 102kg級 第1位
- 女子59kg級 第1位

- ・東北大会
- 女子59kg級 総合第1位
- (スナッチ競技1位、クリーン&ジャーク競技1位)

- ・新人大会
- 男子67kg級 第1位
- 81kg級 第1位
- 102kg級 第1位
- 女子59kg級 第1位

自転車競技部

- ・春季大会
- トラック・レーサーの部
- 3kmインディヴィデュアル・パシユート 第1位

- ロード・レーサーの部
- 500mタイムトライアル 第1位
- 1kmタイムトライアル 第1位
- ・高校総体
- 男子個人ロードレース 第1位

- トラック・レーサーの部
- 3kmインディヴィデュアル・パシユート 第1位

- スプリント
- ロード・レーサーの部
- 1kmタイムトライアル 第1位
- 2kmインディヴィデュアル・パシユート 第1位

- ・新人大会
- トラック・レーサーの部
- 1kmタイムトライアル 第1位
- スプリント 第1位
- ケイリン 第1位

3kmインディヴィデュアル・パシユート

- ・陸上競技部
- 春季大会
- 男子4x100Mリレー 第1位
- Bクラス 第1位

- ・柔道部
- ・高校総体
- 女子個人57kg級 第1位
- ・全日本女子ジュニア体重別選手権大会 (県予選)
- 女子個人57kg級 第1位
- 新人大会
- 女子個人57kg級 第1位
- 女子個人57kg級 第1位

山岳部

- ・高校総体
- 個人救急法 第1位

- ・囲碁部
- ・全国大会県予選
- 個人戦Bクラス 第1位
- ウエイトリフティング部
- 男子2名 第1位
- 女子1名 第1位

- ウエイトリフティング部
- 男子2名 第1位
- 女子1名 第1位

- レスリング部
- 男子1名 第1位
- 男子四名 第1位
- 女子1名 第1位
- 柔道部
- 男子1名 第1位
- ウエイトリフティング部
- 男子2名 第1位

- ウエイトリフティング部
- 男子2名 第1位
- (81kg級8位入賞)
- レスリング部
- 男子1名 第1位
- 女子1名 第1位
- 自転車競技部
- 男子個人2名 第1位

○第10回高校生科学技術コンテスト

- SDGs特別賞 チームメテリアル
- 令和四年度建築甲子園青森県大会
- 青森県大会 最優秀賞
- 審査員特別賞 建築科
- 第13回建築甲子園全国大会
- 個人 奨励賞

- ★教育機関 資格取得表彰受賞者
- ・東日本高等学校土木教育研究会
- 会長賞
- ・東日本建築教育研究会
- 会長賞
- ・全国材料技術教育研究会
- 優秀生徒表彰
- ・全国情報技術教育研究会
- 生徒表彰
- ・乙種危険物取扱者全額取得者
- 6名
- ・ジュニアマイスター特別表彰
- 9名
- ・ジュニアマイスター顕彰
- ゴールド 41名
- シルバー 50名
- ブロンズ 44名
- 過去2番目に多い受賞者144名
- 全国上位三十傑 (三年連続十度目)
- ★外部機関による表彰
- ・高体連優秀選手賞
- ウエイトリフティング部 1名
- ★公益財団法人青森県スポーツ協会
- ・スポーツ奨励賞
- 自転車競技部 1名
- ★高体連ラグビー専門部
- 優秀賞 2名
- 奨励賞 1名
- 功労賞 1名
- ・バレーボール専門部
- 奨励賞 1名
- ★八戸市バレーボール協会
- 優秀選手賞 1名

八工の今、第三版

本校にもやっと各教室にプロジェクター及びエアコンが配備されました。現在は全校集会というものが難しくなってきました。現在は全校集会という生徒総会・壮行式等の行事は各教室で行い、エアコンは三十℃を超える日だけの運転となっております。ですが、以前よりは快適に生活しています。

北側駐車場（郵便局側）に管理棟（令和五年二月完成）。今後は現在の管理棟（A棟）を解体し教室棟（現C棟）を建設し、C棟解体。B棟・D棟間が駐車場になります。



鉄骨・製缶・機械加工

東北建機工業株式会社

取締役会長 上 柿 富久夫 (定1M)
代表取締役 西 浦 孝 (20M)
TEL. 28-5551 FAX. 28-5554

私たちが「毎日のきれい」を応援します

備クリーニングイルカ クリーニング123

代表取締役 平山 秀司 (16S)
八戸市小中野二丁目9-15 TEL.0178-44-2261

Get Healthy!

あなたの健康増進とスポーツ能力向上にお手伝いします

SINCE1985 前田 喜代治(19C)
八戸市根城 友好カイロプラクティックセンター
Tel 0178-46-1127

電話 630-クワイエット...いつものたたいまをあなたに

交通事故のない社会へ。それが私たちの願いです。

Motor School. ハ戸モータースクール
0120-28-2145

LICENSE

君の努力が華開く!

0178-88-3340
http://hachinohels.com

運転免許は三八五オートスクール

MIYAGO AUTO SCHOOL

三八五オートスクール オートスクール1 検索
八戸校 0120-100-385 三戸校 0120-200-385

DBC ドローンもミヤゴ 0120-03-8556
DBE Drone Center Center, DBC 三八五 八戸校

豊かな地域のポテンシャルと知的創造資源の融合を目指す

大泉建設 株式会社

〒039-3215 上北郡六ヶ所村大字倉内字笹崎1157
Tel : 0175-74-2468 / Fax : 0175-74-2368

大泉企業グループ

- 関連企業
 - 大泉運輸株式会社 TEL: 0175-74-2488 / FAX: 0175-74-2368
※ISO9001:2008/14001:2008認証登録(本社:管理/業務部門)
・一般建設業(青森県知事認可)
・一般区域貨物自動車運送/一般旅客運送(貸切バス)/産業廃棄物収集運搬/産業廃棄物処分業
・砂利採取/販売業・原子力関連施設の保守(メンテナンス)業務、他
 - ファウンテン株式会社 TEL: 0175-74-3309 / FAX: 0175-74-2368
・毒物/劇物販売業・ビル清掃業・一般建設業(青森県知事認可)
・自動車(新車、中古車)販売、リース業・部品及びタイヤ販売・燃料販売
 - 株式会社 大生 TEL: 0176-52-5647 / FAX: 0176-52-5649
/三沢市下久保41-62
・原子力定換/プラント助勢/足場・型枠・鉄筋/とび・土工工事

修理は北へ!日本一の修理屋を目指して
産業用機械の総合修理メーカー

ハード工業有限会社
青森県八戸市北インタ工業団地5丁目2-26
tel 0178-38-7300 / fax 0178-38-7307

株式会社 フラワーショップ花誠

本店 / 青森県八戸市朔日町43-1
TEL:0178-44-4187
FAX:0178-45-9551
● URL http://www.hana-hanasei.com
● E-mail info@hana-hanasei.com

赤間印刷工業 株式会社

インサツはアイデアで、
まだまだオモシロくなる。

〒031-0072 八戸市城下1-24-21
tel. 0178-43-7158

電気技術からITまでをトータルに **認証 ISO 9001**

人が、街が、環境が喜ぶ未来へ

株式会社 河原木電業

営業品目 電気、通信、計装、新・省エネルギー設備、設計施工

本社 八戸市江陽二丁目11-13 ☎0178(45)2100

株式会社 長勝板金工業

住んで、家を大切に

▲雨樋修理 ▲屋根葺き替工事 ▲雪止め取付 ▲外壁貼り替工事 ▲雨漏り修理 ▲太陽光発電設置

八戸市鼓町字福沢久保39番4 34-0078 [長勝板金] [緑環]

空調・給排水・衛生工事、消防設備工事
LPガス工事、リフォーム工事、設計・施工

株式会社 北奥設備

会長 北向幸吉(昭36C)

〒031-0072 八戸市城下四丁目24-7
TEL 0178-45-7011(代) FAX 0178-22-6064

日本ホテル協会会員 HACHINOHE PLAZA HOTEL

ハーフプラザホテル

☎031-0081 青森県八戸市柏崎1丁目6-6
PHONE:0178-44-3121 FAX:0178-44-3128

中山 博幸(41MA) 金子 慎也(7N)

価値ある製品開発を追求する

株式会社 浅利研究所

会長 浅利 研(6C)

本社 〒031-0812 八戸市湊町大沢 46-10
TEL 33-8920 FAX 34-6776
釣具部 青森県八戸市新湊1丁目11の3
新湊工場 TEL 0178-33-0358 FAX 0178-34-6500
機械開発部 青森県八戸市北インター工業団地三丁目2-84
北インター工場 TEL 0178-51-2323 FAX 0178-51-2324

100
1924-2024
TANABUGUMI
ひとりのココロ、みんなのココロ。「情熱企業」

株式會社 田名部組

代表取締役 田名部 智之

TANABU GROUP

光 人のつながりを大切に

株式会社 光洋鉄工

代表取締役 小金平 育男(26C)

本社 〒039-2246
青森県八戸市桔梗野工業団地二丁目8番26号
TEL (0178)20-1315(代) FAX (0178)20-3251
e-mail kouyoutetukou@festa.ocn.ne.jp

上下水道、ガス 管土木工事
衛生、空調、防災 設備工事

西浦水道建設工業(株)

取締役会長 小川 洋一郎(16M)

八戸市沼館1-7-38 TEL 0178-22-5167

BASE 有限会社 サンキョウ企画

2輪・3輪・4輪の販売、整備。車輪がついてるものなら何でもご相談ください。

〒039-1165
青森県八戸市石堂3丁目13-1
TEL 0178-20-0657

土地家屋調査士事務所

登録番号第600号
昭和50年12月18日登録

畑中 義信

土地家屋調査士・測量士・土地区画整理士

〒031-0812 青森県八戸市湊町字上中道14番地35
(株)新日測量設計内)
TEL 0178-33-8724(代) FAX 0178-33-8725
E-mail hata1952@helen.ocn.ne.jp

よす屋
伊知郎

中山 nakayama 伊知郎 ichiro

八戸市三日町25 屋台村内おんで市
店 Tel 080-1674-6255

佐々木総業株式会社

代表取締役 佐々木 啓二

古物商
産業廃棄物処分業
一般廃棄物収集運搬業
産業廃棄物収集運搬業
特別管理産業廃棄物収集運搬業

TEL (0178) 28-2833 FAX (0178) 28-5505
E-mail:sasakisougyou@llac.plala.or.jp

総合建設コンサルタント

3Dレーザ計測・水中3D計測・UAV写真測量

株式会社 興和

〒039-1101 青森県八戸市大字尻内町字尻内河原65-1
TEL 0178-70-2771 FAX 0178-70-2777 URL http://www.kouwa-k.co.jp

NIPPON TRAVEL AGENCY TOHOKU CO.,LTD.

株式会社 日本旅行東北 八戸支店

支店長 松本 弘(昭和60年度 電気科)

〒031-0031 青森県八戸市番町25(クマガイビル2F)
TEL 0178-44-2241(代) FAX 0178-43-1067
E-mail hachinohe_net@nta.co.jp
営業時間/月~金 9:30~12:00 13:00~17:30
土曜・日曜・祝日・年末年始・お盆期間(休業)

編集後記

この度の八工同窓会誌「曙光」の発行にあたり多くの方から協賛(広告)、同窓会誌の原稿依頼に対しまして、ご多忙中にもかかわらず快諾していただき誠にありがとうございます。お陰を持ちまして発行することが出来ました。この広告掲載については、活躍されている同窓生の方々の広告を募集しております。(一枠五千円) 協力いただける方は、八戸工業高校同窓会事務局までご連絡をください。

また、会券購入の詳細は、会場準備の都合上、事前に学校ホームページをご覧ください。同窓会事務局までお問い合わせください。会券は当日購入も可能です。

定期総会・懇親会は新型コロナウイルス感染防止対策を受け、三年間実施できませんでした。この三年間で色々な想いがあると思います。祝杯を交わしながら、その想いを語り、楽しい時間を過ごしましょう。

最後に、今年度は十一月三日(金)に、本校創立八十周年式典・祝賀会を開催します。

印刷の花は散ることはない

株式会社 中長印刷

八戸市城下四丁目24-23
TEL 44-3362 FAX 44-3363

代表取締役社長 中村 正明 (47年 電気科卒)

E-mail : nakacho@nakacho.net URL http://www.nakacho.net/

活躍されている同窓生の方々の広告を募集しております。(一枠5千円) 協力いただける方は同窓会事務局までご連絡ください。

TEL : 0178-22-7348